

公民館冬景色

珍しく青空が広がった12月のある日、陽射しに誘われて事務室から外へ出てみました。

玄関を出て右の方、歩道に沿って4本の**ハナミズキ**が、落葉した梢に小さな真つ赤な実をつけています。その赤は深紅と呼んでもいいもので、上等な珊瑚や女性の唇に似て艶やかな光沢があり、青空に美しく映えています。

左手の国旗掲揚塔の傍らには、**皇帝ダリア**がピンク色の大輪の花を咲かせています。背丈は街灯よりも高く、普通に歩いてはその存在さえ見逃してしまいます。冷気に包まれるこの時季に、天空に誇らしげに咲く姿は健気でもあり、その淡いピンク色に儚さや痛ましさを感じます。

歩道沿いの花壇には**パンジー**と**ビオラ**が、つかの間の陽光を浴びて咲き誇っています。養護学校の生徒達が種から育てた苗を、環境美化ポランテ

ィアの方々が植え付けたものです。障がいを持つ子供達とポランティアの住民達のコラボした姿がここにあります。

12月初旬、玄関を中心に**イルミネーション**が完成しました。冬の公民館周辺を明るく華やかに飾り、来館者を温かく迎えたい。そして、来年が光に満ちた年であるよう、思いを込めた公民館文化部の皆さんの渾身の作品です。

夕刻になると、親子連れが歓声をあげながら写真を撮る光景が見られます。このイルミネーション、今年は年末年始も点灯します。帰省中の方にも楽しんでもらい、**ふるさと川津は現在もこれから元気だ**と知ってもらいたいです。

新たな年が「生きとし生けるもの」全てが光り輝く年になるよう祈っています。